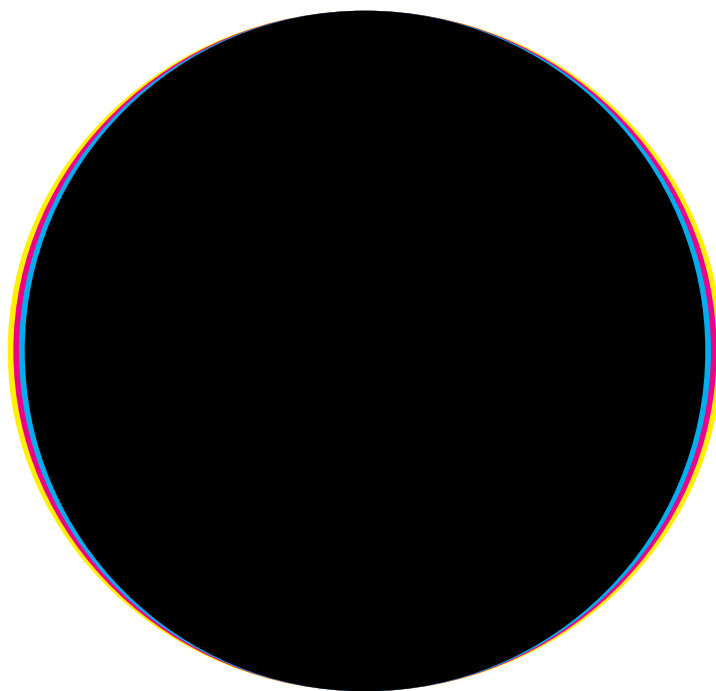


(NEW) NORMAL ART

用をあらため、美にかえる

新・用の美展



2021年11月10日(水)-12月17日(金) ワコールスタディホール京都

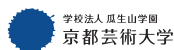
服部滋樹 ミヤケマイ 白石晃一 中家寿之

石川蒼 伊藤瑞 大塚峻太郎 北山菜水 小橋美花 佐藤星那 城井知世

武内小春 谷口雄基 永倉瞭 中森美咲 西川りさ 橋佐古和香 服部亜美 山下龍二

主催: 京都芸術大学ウルトラファクトリー 協賛: 株式会社ワコール、株式会社資生堂

協力: 京都信用金庫、株式会社細尾、新工芸舎、MTRL KYOTO/FabCafe Kyoto、長岡銘竹株式会社、土肥板金工芸株式会社、かみや民芸店、竹工房喜節、藤原製本株式会社、中田工芸株式会社



(NEW) NORMAL ART

新・用の美展

用をあらため、美にかえる

このたび、ワコールスタディホール京都にて「新・用の美」展を開催いたします。

産業革命という社会的パラダイムシフトを受けて、西洋で起きたウィリアム・モリスの「アーツ・アンド・クラフツ運動」、それを受けた柳宗悦による「民藝運動」が日本で起こり、「美」における新しい発見がなされたように、コロナ禍で変化し困窮する今だからこそ、これからのわたしたちの暮らしが求める新しい美のカタチ、用の機能の可能性を探ることが重要であると考えます。京都芸術大学では、現代の「美」を探るプラットフォームとして、学生とクリエイターチームとともに「新・用の美プロジェクト」を立ち上げました。2021年5月にスタートを切ったこのプロジェクトでは、「民藝」のリサーチ、生活の中で「美」を感じる心理的な要件や文化性など考察から、京都の伝統工芸の工房、デジタルファブリケーションなど現代のテクノロジーを利用したものづくり、その融合の実践を行う場でのフィールドワークを行い、これまでの工芸における「用」をあらため、次の使えるものとして成長するような新しい「用」・「美」もありうるのではないかという批判的視点から、本展では「空間」「時間」「機能」「見方」の4つの指向性を用いて新たな用の美、あるいは様式を生み出すことを試みました。

本展が「美」や「用」をめぐる新しいプラットフォームとなり、そこから未来シナリオを描くような提案となれば幸いです。

会期：2021年11月10日（水）-12月17日（金）月-金10時-20時（土・日・祝日は休館）
会場：ワコールスタディホール京都（入場無料）

ディレクション：服部滋樹（クリエイティブユニット graf 代表 / クリエイティブディレクター / デザイナー）、ミヤケマイ（美術家）、白石晃一（美術家 / ヒューマンコンピュータインタラクション研究者）、中家寿之（グラフィックデザイナー）

メンバー：石川蒼、伊藤瑞、大塚峻太郎、北山菜水、小橋美花、佐藤星那、城井知世、武内小春、谷口雄基、永倉瞭、中森美咲、西川りさ、橋佐古和香、服部亜美、山下龍二（以上京都芸術大学）

ワコールスタディホール京都

京都市南区西九条北ノ内町6 ワコール新京都ビル1F

アクセス：京都駅八条口より徒歩7分

※駐車場・駐輪場のご用意はございませんので、公共交通機関をご利用ください。

お問い合わせ：075-556-0236 月-金 9時半-17時（土・日・祝日のぞく）

<https://www.wacoal.jp/studyhall/>

【新型コロナウイルス感染拡大予防ご協力をお願いいたします】
◎ご入館の際はマスクの着用と手指の消毒をお願いいたします。
◎発熱や咳などの症状がある方はご来館をお控えください。ご入館時に、非接触型体温計にて検温させていただきます。
◎展示室内が混雑した場合、入場制限をさせていただきます。※開館状況は急遽変更となる可能性がございます。ご来館前に当館ウェブサイト等にて最新情報をご確認の上、お越しください。

